

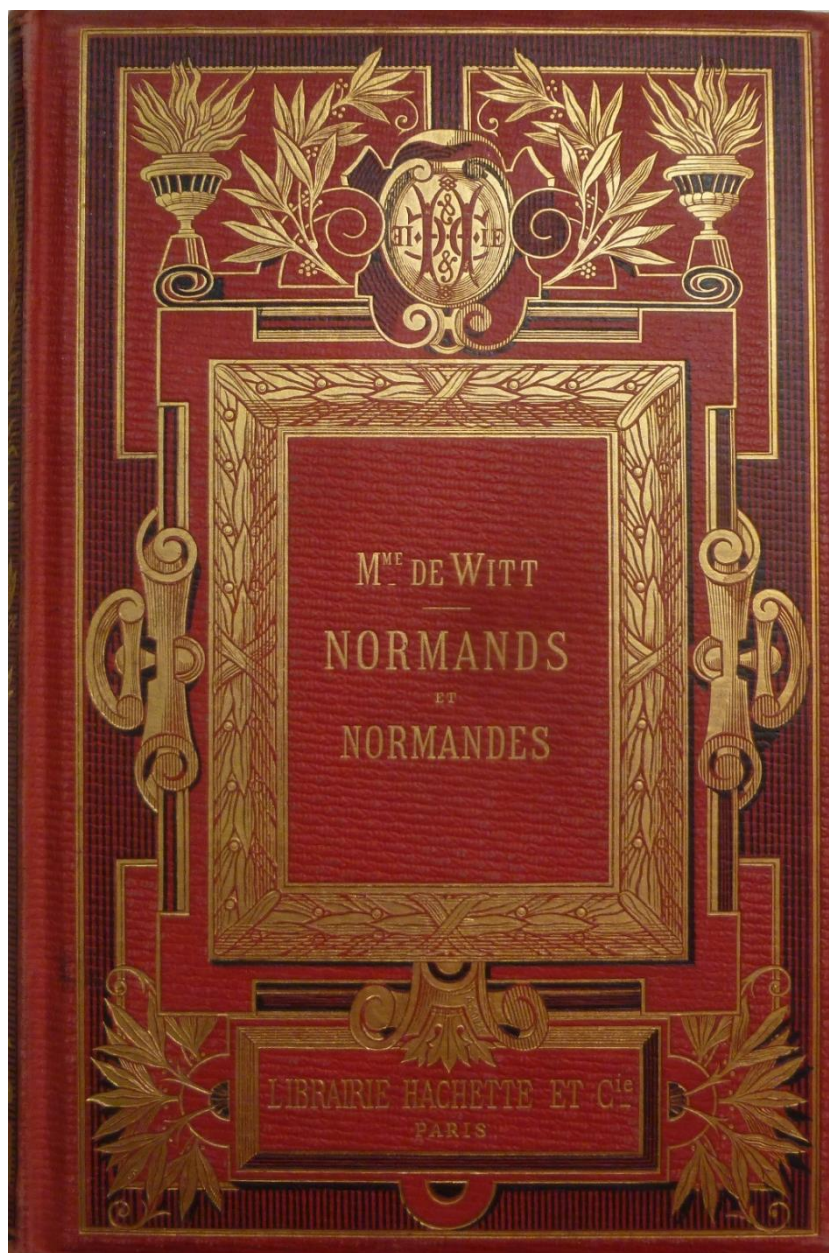
特別企画

美しい西洋古書と版画展

Exhibition of Beautiful Western Rare Books and Prints

2026年6月18日(木)～6月28日(日) 10:00 - 17:00 休館日6/22(月)

会場：オーエンス八千代市民ギャラリー 第1展示室・第2展示室



“NORMANDS ET NORMANDES Scenes Historiques” 1884年刊 PARIS Librairie Hachette Et C 出版

ギャラリートーク 「西洋古版画を知る」 酒井清一
Gallery Talks "Understanding Western Prints" Seiichi Sakai
6月21日(日) 10:00～11:30 **入場無料**

主催：オーエンス八千代市民ギャラリー
O-ence Yachiyo Civic Gallery
2510 Murakami Yachiyo-city Chiba-pref, 276-0028
<https://www.yachiyo-library-gallery.jp/gallery> Tel.047-406-4116

(特別協力) (元)東北芸術工科大学教授 酒井清一

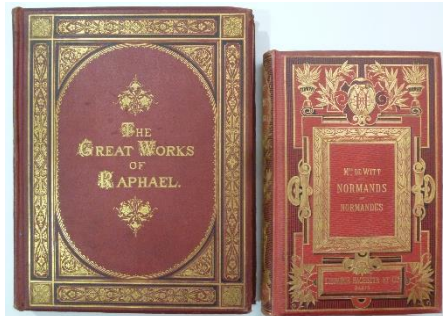
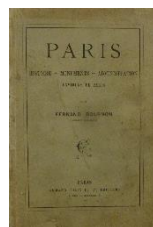
特別企画 **美しい西洋古書と版画展**
 Exhibition of Beautiful Western Rare Books and Prints
 2026年6月18日(木)～6月28日(日) 10:00 - 17:00 休館日6/22(月)

オーエンス八千代市民ギャラリーでは、2023年に「ヨーロッパ版画の世界」を開催しました。大変好評を頂きまして、この度、1850～1890年出版の美しい装丁の書籍とそれに掲載された銅版画(エングレービング)や木口木版画を複写紹介し、合わせて同時代の実物版画を展示いたします。貴重な書籍と版画技法の粋を集めた作品の数々を、ぜひご覧ください。

西洋古書の装丁

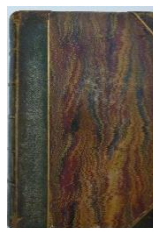
●伝統的装丁

この「Paris」歴史書のように、当時は、購入者が簡易表紙で綴じられた書籍を製本屋に持ち込み、装丁を施しました。金属型を熱し金箔に箔押しする工芸技法で装丁された美しい書籍になります。



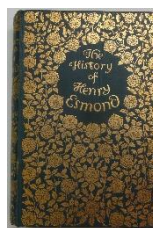
●マーブル模様装丁

中国からイタリアに伝わった紋様表現で、藻や海藻を混ぜた水溶液に墨や絵具を流し、櫛状の器具で引くと有機的な紋様が生まれ、紙に転写できます。書籍の表紙や見開きに使用されています。



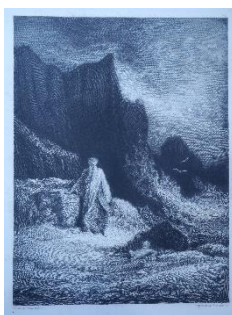
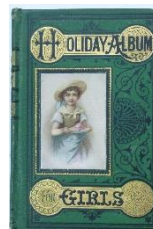
●アールヌーヴォー・デザイン

1867年の第2回パリ万博に日本が初めて出品。その工芸作品や浮世絵版画が影響を与え画商サミュエル・ビングの尽力により、ヨーロッパ各国に日本風のデザインが普及しました。日本の模様和紙の使用(天地逆転している)絵画表現(花鳥)を応用し、曲線を使った有機的なデザインが生まれました。



●アールデコ・デザイン

アールヌーヴォー・デザインの後、1900年頃から構築性の強いデザインに移行します。この様式の文字とイラストを構成した豪華な装丁の書籍が販売され、詩集・文学、児童書など幅広い分野と小型の書籍も出版されるようになりました。



●銅版画 エングレービング版画(1800年代)

エングレービング(engraving)とは、銅版画技法のひとつで、断面が三角形の固く鋭い刃のついたビュラン(burin 仏語)という道具で繊細な線を銅板に彫り込み、その溝にインクを埋めプレス機で印刷する方法です。

書籍出版数(300～500部)に合わせ、銅板より硬い鉄板を使い、ベテラン職人が長時間かけて一枚の版を制作し、19世紀後半には、イギリスのターナーが描いた風光明媚な風景や当時の名画が精密に再現され、華麗な装丁の豪華本にして出版されました。

●木版画 木口木版画(1800年代)

西洋の木版画は、硬い針葉樹の木口(幹を垂直に切断)を使い、銅板と同様に繊細な線で彫る超絶技法。黒い線で描いたかのように見える職人技はフランスのギュスターブ・ドレの版画などに見られます。



会場: オーエンス八千代市民ギャラリー
 住所 〒276-0028 八千代市村上2510番地
 電話 047-406-4116 (月曜休館 祝日の場合、翌平日)